

【令和4年度指標達成状況】

目 標	施策の方向性	通し 番号	指 標	担当課	年度目標値 (R4年度)	R4実績値 (R4.12月末時点)	詳細	次年度方向性	懇話会コメント
I 男女共同参画の理解促進	1 男女共同参画に関する情報提供・啓発	1	男女共同参画コーナーの設置回数	文化スポーツ課	2回/年	1回/年	男女共同参画に関するパネル展の開催 期間：令和4年10月22日（土）～11月1日（火） DV・デートDV、ワークライフバランス、LGBTに関するパネルを展示したほか、関連図書やリーフレットを設置した。多くの方の目に触れるよう、町公民館の1階ホールに設置した。		公民館以外にも人が集まる場所等に設置を検討したらよいと思います。
		2	男女共同参画という言葉と意味を知っている人の割合	文化スポーツ課	50.0%	56.0%	男女共同参画学習交流会参加者に対してアンケートを実施。10代～80代の男女18名から回答を得た。		
	2 幅広い年代に対する教育と学習の推進	3	岩手県男女共同参画サポーターの認定者数	文化スポーツ課	計29人	計32人	令和4年度は町内在住者7名が認定を受けた。過去最大の認定者数となった。		
		4	岩手県男女共同参画サポーターの活動支援回数	文化スポーツ課	1回/年	1回/年	男女共同参画学習交流会の実施 日時：令和4年10月29日（日）午前9時～正午 町内男女共同参画サポーター、懇話会委員、男女共同参画に関心のある町民を対象とした講座を開催。第1部は、県男女共同参画センター職員によるワークライフバランスの基礎について講話いただいた。第2部では避難所運営ゲームHUG体験を行い、1グループ5～6人で避難所運営をゲーム感覚で学び、災害時における男女共同参画の視点の大切さを感じていただいた。		
		5	男女共同参画に関する学習を実施した町立学校の数	学校教育課	70%	6/6校	・思春期保健教室 ・社会科、家庭科、保健体育科、道徳、特別活動等による教科横断的な学習を実施		
II 様々な分野における男女の参画拡大	1 意思・方針決定過程への女性の参画拡大	6	審議会等委員に占める女性の割合 (矢巾町長部局行政組織規則第13条、矢巾町教育委員会行政組織規則第18条)	全庁（集計：文スポ）	30.0%	24.3%			
		7	各種委員会や会議等の役員選出におけるクォータ制の導入率	全庁（集計：文スポ）	5.0%	0%			
		8	町職員管理職に占める女性の割合	総務課	12.0%	17.6%	管理職17名うち3名女性		
		9	行政区長に占める女性の割合	企画財政課	4.0%	2.4%	行政区長41名 うち女性行政区長1名	行政区長は令和5年度をもって廃止予定だが、地域コミュニティにおいて誰もが役員を務めやすい組織づくりを推進する。	地域コミュニティの場合、まず男女共同参画の意味を理解するための説明が必要。できる範囲で各会長に対してもアピール活動をお願いしたい。
		10	町議会議員に占める女性の割合	議会事務局	27.8%	27.8%	具体的な取り組み等、特になし。	女性が議員活動をしやすい環境整備を検討する。	
		11	町農業委員に占める女性の割合	農業委員会事務局	12.0%	12.5%	農業委員16名（うち女性農業委員2名）。3年に1度の改選のため、前年度と同数値。改選は公募のため、次回改選に向け、女性を推薦する地域が増えるよう啓発している。	令和5年度は改選なしのため、現状維持。	
		12	公民館を活動拠点とするサークルのうち女性が代表を務めるサークルの割合	文化スポーツ課	70.0%	78.6%	公民館を拠点とするサークル56団体のうち、44団体が女性が代表を務めている。		

【令和4年度指標達成状況】

目 標	施策の方向性	通し 番号	指 標	担当課	年度目標値 (R4年度)	R4実績値 (R4.12月末時点)	詳細	次年度方向性	懇話会コメント
II 様々な分野における男女の 参画拡大	2 ワーク・ライフ・バランス の実現	13	町職員男性の育児休暇取得率	総務課	2.0%	60.0%	5人中3人		
		14	町職員男性の介護休暇取得率	総務課	2.0%	0%			
		15	地域において男女が平等と感じている人の割合	文化スポーツ課	48.0%	39.0%	男女共同参画学習交流会参加者に対してアンケートを実施。10代～80代の男女18名から回答を得た。		男女共同参画学習交流会に参加した方は、男女共同参画に興味のある方であったと感じるため、広く町民の意見が聞き取れる方法を今後検討してほしい。
		16	家庭において男女が平等と感じている人の割合	文化スポーツ課	60.0%	28.0%	男女共同参画学習交流会参加者に対してアンケートを実施。10代～80代の男女18名から回答を得た。		男女共同参画学習交流会に参加した方は、男女共同参画に興味のある方であったと感じるため、広く町民の意見が聞き取れる方法を今後検討してほしい。
		17	子ども会育成会連合会主催の親子創作活動のうち父親（祖父を含む）の参加率	文化スポーツ課	13.0%	4.5%	令和5年1月7日（土）に開催。合計参加児童28名（小学生以下含む）、保護者22名参加のうち、父1名であった。開催内容は手芸、陶芸、ジェルキャンドルの3教室。		
	3 多様な働き方の促進に関する 支援の充実	18	町職員女性のキャリアアップ研修の受講者数	総務課	2人/年	2人	県市町村課派遣 町村会リーダー養成研修		
		19	離職者を対象とした職業訓練における女性の再就職率	産業観光課	32.0%	18.7%	矢巾町の職業訓練受講者（女性）のうち訓練終了者の就職件数。盛岡公共職業安定所からの資料提供による。		
		20	家族経営協定の締結数	産業観光課	77件	76件	家族で役割分担や労働時間、休日、労働の報酬等の労働条件を話し合いの上決め、協定を締結する紳士協定。町やJA及び普及センター立会いの下、締結する。	引き続き農業者へ協定の趣旨・目的を発信し、賛同する者の発掘に努める。（予定：2件）	
		21	職場において男女が平等と感じている人の割合	文化スポーツ課	35.0%	22.0%	男女共同参画学習交流会参加者に対してアンケートを実施。10代～80代の男女18名から回答を得た。		男女共同参画学習交流会に参加した方は、男女共同参画に興味のある方であったと感じるため、広く町民の意見が聞き取れる方法を今後検討してほしい。
	III 安心安全な暮らしの実現	1 生活上の困難に対する支援の 推進	22	生活支援コーディネーターの配置人数	健康長寿課	5人/年	5人/年	1層 町社会福祉協議会に委託（1人） 2層 町内の4つの社会福祉法人に委託（4人）	目標達成しており、継続して地域づくりを推進する。
23			障がい者の不利益に対応する相談窓口職員研修の受講者数	福祉課	1人/年	1人	オンデマンド配信による研修を1名が聴講し、配信資料等について課内で情報共有した。	継続したい。 受講者数を増やしたい。	
2 子育て・介護支援の拡充		24	子育て講習会の参加世帯数	子ども課	160世帯/年	398世帯	町内3か所の地域子育て支援拠点において月1回程度実施。令和4年度より子育て講習会という名称にすべて変更、年齢カテゴリー別にて実施したことで利用者増となっている。	継続	
		25	子育てボランティア・子育て助け隊の登録者数	子ども課	25人	10名	年2回子育てサポーター研修を開催。研修参加者を募集、登録を促めている。令和4年度新規登録者3名。	継続	
		26	介護予防教室（出前講座、公民館型、えんじょいセンター）の参加者数【合計】	健康長寿課	延べ720人/年	延べ543人/年 (介護予防教室535人、出前講座8人)	公民館型介護予防教室は2月末より開催予定。	事業継続し介護予防の普及啓発を推進する	
27	家族介護者教室の参加者数（地域包括支援センター主催）	健康長寿課	15人/年	29人/年	R4.6.11（土）開催（家族介護当事者の講話、講話参加者及び家族介護者の交流会）	事業継続し家族介護者同士の交流と情報共有の場を提供する			

【令和4年度指標達成状況】

目 標	施策の方向性	通し 番号	指 標	担当課	年度目標値 (R4年度)	R4実績値 (R4.12月末時点)	詳細	次年度方向性	懇話会コメント
Ⅲ安心安全な暮らしの実現	3 男女における健康支援	28	子宮頸がん検診の受診率	健康長寿課	47.0%	13.2%			
		29	乳がん検診受診率	健康長寿課	48.0%	18.5%			
		30	一般及び特定不妊治療費の助成数【合計】	健康長寿課	30件/年	一般不妊治療：0件 特定不妊治療：12件			
		31	マタニティひろばの参加世帯数	健康長寿課	延べ50組/年	1コース：9組 2コース：18組			
		32	通いの場体操クラブの登録者数【累計】	健康長寿課	累計305人	累計337人		複数箇所の通いの場立ち上げに力を入れる	
		33	青松学園大学会員のうち全講座に出席した会員の割合	文化スポーツ課	23.0%	48.6%	今年度は1回のみの開催。		
	4 防災における男女共同参画の推進	34	女性役員がいる自主防災会の割合	総務課	100.0%	100%	自主防災会ごとに副会長、公民館長、保健推進員、班長等の役員に積極的に登用している。	女性の比率を更に向上	
		35	女性消防団員がいる消防団の割合	総務課	100.0%	100%	女性消防団が避難所開設・運営訓練や救命・救護訓練及び普通救命講習等で活躍している。	新女性団員確保を推進	
		36	町内防災士に占める女性の割合	総務課	15.0%	27%	矢巾町防災士111名のうち女性防災士は30名育成した。	防災に女性の視点を取り入れるため、積極的な参加を助長	各地域で自主防災組織があると思うので、避難訓練等で女性の防災士にぜひ活躍していただきたい。
		37	町防災訓練の参加者に占める女性の割合	総務課	22.0%	33%	総合防災訓練はコロナ禍の影響から規模を縮小して実施したが、訓練参加人員数189名中、64名の女性が参加した。	防災に女性の視点を取り入れるため、積極的な参加を助長	
Ⅳ多様性の尊重とあらゆる暴力の根絶	1 多様性を尊重する意識づくり	38	学校における思春期保健教室の開催回数	学校教育課	8年/年	7回/年	学校保健会の事業として小学5年生、中学校全学年対象に実施。		
		39	性的指向、性自認の尊重を題材とした学習を実施した町立学校数	学校教育課	6/6校	5/6校	思春期保健教室のほか、小学校では、道徳科の「個性の伸長」の内容項目を扱う中で、自分の特徴に気づき長所を伸ばすことに関する学習を各学年に位置付け学習している。		
		40	学校における人権教室の開催回数	学校教育課	14回/年	6/6校	・人権擁護委員による「人権教室」「人権の花植え」 ・全校朝会での「世界人権の日」周知、「人権週間」期間中に校長による講話 ・募金活動 ・生徒会による「仲間づくり」「いじめ防止対策」の取組		
		41	人権擁護委員による特設相談会の開催回数	福祉課	12回/年	12回/年	毎月第1金曜日	継続	
		42	LGBT等、セクシャルマイノリティに関連した言葉と意味を知っている人の割合	文化スポーツ課	55.0%	72.0%	男女共同参画学習交流会参加者に対してアンケートを実施。10代～80代の男女18名から回答を得た。		男女共同参画学習交流会に参加した方は、男女共同参画に興味のある方であったと感じるため、広く町民の意見が聞き取れる方法を今後検討してほしい。
	2 暴力等を許さない環境整備と理解促進	43	配偶者暴力相談支援センターや警察で相談や保護を行っている人の認知件数	福祉課	10件/年	8件/年		継続	
44		DV予防に関する学習を実施した町立学校数	学校教育課	3/6校	2/6校	学校保健会の事業として中学生対象に「お互いを尊重できる関係の築き方」を実施。			